

## 解答

## 一

- 問一 腹  
問二 エ  
問三 (A) オ (B) オ  
問四 いまの自分の人生が否定されること（を恐れているから。）  
問五 ウ  
問六 イ・エ  
問七 イ  
問八 ア  
問九 (I) 新が実際に未来を作るため行動しようとしていること。  
(II) 未来の自分の人生が無意味なものにならないよう、よい未来を作るためにいまを生きることが大切だと気づいたから。

## 二

- 問一 A ア  
問二 X 右 Y 左  
問三 ア  
問四 図書館員も、服や食事、テレビの番組など、さまざまなことを選択して日常生活を送っているはずだから。  
問五 ウ  
問六 ● 創作者の努力を認め励ますこと  
● 創り出される作品の質の維持・向上  
問七 ウ・オ  
問八 エ  
問九 オ  
問十 ● 創り出される作品の質の維持・向上に参加しているという意識を持つこと。  
● 愛情や親切心をもって、自分の受けた感動を他の人と分かち合いたいと思うこと。

## 三

- ① 立候補 ② 訪〔ね〕 ③ 染〔まる〕 ④ 金貨 ⑤ 精密 ⑥ 導〔く〕 ⑦ 採血  
⑧ 冷蔵庫 ⑨ 遺産 ⑩ 銭湯

## 解説

## 一

- 問九 (I) 新は「まだ起こっていない未来がき、いまからきまってしまうるはずはないよ。」といい、実際に「この土地で、自分らがやって行くことの準備をしよう」としています。その姿を見たことがきっかけで、朔は未来へ行く決心をします。  
(II) パパから「ひどい老人になった日のことを想像するより、いま現実に子供である自分を見よ」と言われ、新から「未来の世界に行っていやだったら、いまに帰って来て、そうじゃない未来を作ればいい」と言われたことで、朔は、未来を見ることを恐れていないで、よい未来を作るためにいまを生きることが大切だと気づきます。

## 二

- 問十 ひとつ目は、本文のところで「質の違いを認めることが選ぶことにつながる」「努力の結果生み出された作品の違いを認めて、それを選ぶことは、創作者の努力を認め励ますことであり、」「作品を享受する人も、選ぶことによって、創り出される作品の質の維持・向上に参加している」と述べられている点です。  
ふたつ目は、本文の最後で「自分のところに深く訴える本、自分の目を開かせてくれた本、たのしい思いを味わわせてくれた本があるなら、その体験をだれかと分かち合いたいと願うのは自然なことです。それが選ぶという行為になるのです」と述べられている点です。